



ほほえみ

西和賀町婦人連絡協議会会報 第36号

令和7年9月1日

発行 西和賀町婦人連絡協議会
会長 照井 由美子

住所 岩手県西和賀町上野々39-195-2
TEL 銀河ホール内 0197-82-3240

**第二十回 西和賀町
婦人連絡協議会
定例総会**

令和7年3月9日



令和7年度の総会が消防署を会場に、町長、教育長さんのご臨席を賜り、総勢28名の参加で開催されました。

議事では令和6年度活動及び決算報告。令和7年度活動計画及び予算案が原案通り承認可決されました。

少子高齢化、小中一貫校、等々町の行政も刻々と変わってきている今日です。郷土の伝統文化を大切に、町民一同楽しく過ごせる町を目指し、活動できればと強く感じました。

さくらホールで開催された北上大会は、町婦協から23名の参加でした。大会は口内鬼剣舞の勇壮な踊りで始まり、笑いのたねプロジェクト代表、後藤誠子氏が「親としてひきこもりの我が子と歩んできて」と地域の大人ができることと題しての講演でした。

有名な進学校に入学した次男が高一の夏、突然不登校になった時、学校に行かなきゃ人生ダメになるとの思いで、とにかく学校に連れて行こうと2階から引きずり下ろしたという。次男は何とか高校を卒業し東京のギター職人の学校へ入学、でもまた不登校に。その時の母親の心ない言葉に死まで考えたそうである。北上に戻ってからは自傷行為を繰り返し、心療内科の医師に「典型的なひきこもりです」と言われ、その後、県のひきこもり相談会に参加するようになる。そこでの出会いや学びが息子と自分は違うということに気づき「やさしく諦める」という思いを持つようになる。

そのころから次男も変わり、今では本来の力を発揮しているそうです。そんなご自身の経験

第68回 岩手県地域婦人大会 北上大会

いのちとくらしとふるさとをみんなで守ろう

〜誰もが暮らしやすいまちづくりのために〜

女性会(婦人会)ができることは

令和7年7月12日

が現在の活動につながり、同じような境遇を抱える人達の居場所作りをしているそうです。日本には34万人の不登校、100万人のひきこもりがいるとのこと。一人でも多くの誰もが自分の居場所を見つけ、自分らしい生き方をしてほしいと思わされた講演でした。

親睦旅行も兼ねていたのでレストハウスで買い物を楽しみ、バスでは会長さんからのとんちクイズで盛り上がり有意義な一日となりました。

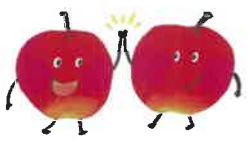


教養部 佐々木 悦子

会長寄稿

リンゴの木
照井 由美子

数年前から盛岡にあるリンゴ園の木を一本契約しオーナーになつています。年に数回それぞれをしながらリンゴの成長を楽しんでいる。作業は春の実は間引きに始まり、葉取り、リンゴ回し等数回あり収穫に向けて色々教わりながら大変だけど楽しみも多い。交流時には色々な人達との出会いがあり、昨年は奥州市の方と大谷選手の話で盛り上がった。私が大ファンであると話したところ、イベント等で市民に配られるシートや応援時に使った品々をいただくことができ、これもリンゴがつかないでくれた縁と有難く思い今でも時々会って会話を楽しんでいます。リンゴの木のおかげで日常生活からほんの一時抜け出し、他の人達と交流する事で気持ちに余裕ができたような気がする。リンゴの木一本が実の収穫はもちろん心の収穫も与えてくれ楽しんで日々過ごしている。



上半期の主な活動紹介

**西和賀高校卒業生へ
絵ハガキプレゼント** 3月吉日

今年も西和賀高校卒業生34名に和子さん「手づくりハガキセツト」を贈りました。
今回はその中の一枚を紹介しましょう。珍しくてかわいいと思つて名前を聞いたなら「うりの木」とのこと。葉はうり（ぎゅうり）にそっくりでたれ下つた白いつぼみはうりに似ていて、花は6月中旬頃に大きな葉の下にひっそり咲き、とてもかわいらしいです。



※贈つたハガキを使い、書いた方は「ほほえみ」に一報を！
待っています！

廃品回収

4月23日

川舟公民館に、前日から持ち込まれた空缶、新聞紙、段ボールなどの大量の資源ゴミ。今年も廃品回収へ協力して下さいました。



**新一年生への
えがお・プレゼント** 4月3日

★保護者の方々より、写真とコメントが寄せられました。

沢内小学校保護者 加藤 紗英
このたびは、入学の記念に素敵なお贈りをいただき、ありがとうございます。木のぬくもりと「えがお」の言葉に、地域の皆さまのやさしさが感じられ、心があたたかくなりました。ここに顔の新一年生にはびったり！...と思いきや、朝の支度でバタバタしているとき、まず親がこの札に励まされています。大切に飾り、毎日笑顔で過ごしていきたいと思えます。本当にありがとうございました。

湯田小学校保護者 藤原 朝子



西和賀町婦人連絡協議会の皆さま、この度は、入学祝の「えがお」、ありがとうございます。家に持って帰ってきてすぐに「ここに掛ける！」と自分で飾る場所を決めました。「どうしてここにしたの？」と聞くと「毎日見れるから！」とのことで、自然と毎日見える場所に掛けたようです。とてもきれいな字で、見ているだけで満足していません。皆さんの優しさを感ずる贈り物で、家族みんながえがおでいられる日々を過ごせたらいいなと思つています。本当にすてきな贈り物ありがとうございます。

「えがお」の文字を書いて下さっている方は
猿橋地区 高橋智昭さんです。



錦秋湖マラソン 5月25日

第45回目の錦秋湖マラソン。前日は、ゲストランナー川内優輝選手のお迎え。当日は朝からの雨で心配しましたがスタート直前に雨が止みました。西和賀の美味しい天然水でおもてなしが出来ました。

川尻婦人会



**岩手銀河
ウルトラマラソン** 6月8日



今回で二十回目の大会。毎回、快く全員で参加してくれる会員の皆さんに感謝しております。五十キロコースなのでランナーも少ないのですが、楽しく気持ち良く走って頂ける様に役立てたらうれしいです。遠方から、この西和賀の自然の中を走り思い出深いものになってほしいと思います。何年か前から人気者のたぬきの着ぐるみを着たおじいさんが楽しませてくれます。私達も心待ちにするようになりました。「また来年も来るからね！」と元気に次のエイドに走り出しました。無事に完走できたかな？今年も、地域の西高の生徒さん三名から手伝つて頂いて、とても助かりました。ありがとうございます。

弁天婦人会 高橋 カツエ

**やすらぎ会 夏祭り
踊り子ボランティア** 8月2日

急に降りだした雨でさんさ踊りは中止するとの事だったが、まつり後半には雨も止み、太鼓の音に合わせて踊りの輪が広がって夏の夜を楽しめることができました。



あとがき

戦後八〇年と言われ「遺族や戦場に行った人たちの声」とはうらはらに、世界中に戦争の火種が見られる。
令和の米騒動や物価高に閑税・参院選の混迷などめまぐるしい不安定な世の中...
そして連日の猛暑には、異常気象を感じる日々かな。

A・N

事務局 教育委員会生涯学習課

銀河ホール 高橋千賀子

〇一九七―八二―三三―四〇

題字 加藤 久子

印刷所 にしわがネットプラザ

〇一九七―八一―一七―三二